

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレスシアスの食卓 ― 河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 58 新・危機管理のノウハウ
- 59 交差点 ― 読者の声・編集者の声



世界と比べても医師数は極めて少なく、超高齢化で医療需要は増大する。なのに、医師の数を減らすのは、財務省・厚労省・日本医師会・議員が利権と既得権を貪るから。後で泣くのはお上に従順な国民だ。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 愛子天皇を阻む「女人禁制」
- 102 山から「花」が消えていく ― 温暖化が助長する「鹿害」の脅威
- 104 高市でやせ細る「食料安全保障」 ― 「自給率100%」はベテンの極み
- 106 神戸市長「管弦楽団潰し」の酷薄 ― 「地方の文化」は誰が守るのか
- 108 ライドシェア「に乗れぬ日本人」
- 110 医学部定員「削減」 ― 医療難民 「大増産政策」の狂気

- 80 金融の世紀 ― 黒木亮
- 88 皇室の風 ― 岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に会う ― 河谷史夫
- 96 をんな千一夜 ― 石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

3 連載〈巻頭インタビュー〉アンドレイ・コルトウノフ ― 世界は複雑な「多中心主義」の時代に

特別レポート

「独り勝ち」習近平の高笑い

自滅する米欧と日本の孤立

- 6 国連職員「貴族化」の不都合な真実
- 12 「日解体」と再生のすずめ
- 14 メキシコ大統領「麻薬戦争」は本気か ― 大物殺害「全面対決」のこの先
- 16 カナダ・アルバータ州「分離独立」の不穏 ― 社会混乱扇動で米露が介入
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 プーチンが怯える「軍の陰謀」 ― ウクライナ戦「劣勢」の濃い影
- 24 UAEとイスラエル「蜜月」の深謀
- 28 知られざるウクライナの「福音派」
- 30 米中「AI覇権」に無力な欧州 ― 今こそ「倫理人道」を説く時だが
- 32 ジャカルタの暗部「巨大ごみ山」 ― グローバルサウス矛盾の象徴
- 34 韓国「石油危機対応」の賢明 ― 日本の先を行く「三天政策」
- 36 トランプ「台湾離れ」が危険水域に
- 38 連載〈現代史の言霊〉6月の再選 ― 英国総選挙(2001年)

米中会談でトランプをあしらひ、プーチンとは蜜月をアピール。西欧諸国の「北京詣で」は続き、自由主義陣営の「中国傾斜」が鮮明となった。敵は日本のみ。米欧依存だけでは打開できない孤立の沼に落ちる。(6頁)



ほぼ総主流派「国力研究会」の珍喜劇は、逆に高市支持の弱さと脆さを示す結果に。国民人気を支える政権に、痛みを伴う政治は不可能。この非常時に「節約」も言い出せぬ小心宰相に、無定見な与野党が屈従する。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 高市「サナエトークン」に潜む真相
- 48 高市も陥る「支持率恐怖症」
- 52 連載〈政界スキャンダル〉お笑い「麻生劇場」国力研究会の倦怠
- 54 有識者会議「御用学者」が俗悪化 ― 政官学「体権力」の危うさ
- 56 高市政権に「沈黙」のテレビ局

イラン危機後は「逆オイルショック」へ

■油価「暴落」と湾岸産油国の凋落

- 62 住友ファーマ「iPS新薬」への疑念 ― 「成長の柱」にはなり得ない
- 64 三菱電機は自動車産業を救うか
- 67 連載〈クローズアップ〉堀秀充(YKKAP会長) ― 3社の役員「二気にケビ」の珍事
- 68 AI「二極化相場」の読み筋 ― 変転の激しさをの対処法
- 70 中国EV「カナダ攻略」の号砲
- 72 北米自動車産業「激変」は不可避
- 74 マネーフォワードと「政官」の蜜月 ― 危うい事業拡大で国会議員が暗躍
- 78 経済 ● 情報カプセル
- 82 連載〈地方金融の研究〉三十三フィナンシャルグループ ― あいちFGの「その次」はどこか
- 82 ニデックは「工場廃止」以外ない ― 賠償リスク「品質不正」がトドメに
- 84 連載〈企業研究〉出光興産

製油所も減らさず、燃料油事業は縮小から「拡大」に転換。温暖化対策はどこかへ吹き飛ばす先祖返り。中東混乱が収束した後、「脱石油」からの逃避はいずれ災厄を招く。目先だけのデータラメ経営は罪深い。(84頁)

